

キッズみんなの日記

3月号

みなさんは一年の間に驚くほど、体も精神面も大きく成長していきますね。日記の中でも、学年が上がるごとに複雑な思いを抱くようになり、そんな自分の気持ちをより細やかに表現出来るようになりました。笑ったり、おこったり、傷ついたりしながら、日々成長していく様子を、切なく思ったり、頼もしく思ったりしながら日記を添削してきました。大人として、また、子を持つ親として、皆さんの「思い」は意外性に富んでいて驚かされたり、忘れかけていた気持ちをよみがえらせてくれたりと、とても新鮮に感じ、勉強になりました。今年度も、みなさんの日記を楽しみながら添削していきます。さて、梨香台セミナーでは、学校より一足早く、今月より新学年の勉強がスタートします。この一年の成長を次の学年へのステップとして、新たな気持ちで頑張りましょうね。優秀作品を見ても、皆さんの成長は一目瞭然！一年前の日記とは比べものになりません！うれしい限りです。



優秀作品紹介

★初級者の部★

「バレンタインデー」

きょうのあさ、チョコを11こ作ってあげました。そのうち9こは、女の子に友チョコを作っていました。そうしたら、6人におかえしをもらいました。

それで、お兄ちゃんにもあげました。そうしたら、お兄ちゃん「おいしい！」

と言ってくれました。うれしかったです。(小二・NHさん)

★中級者の部★
「じゅ業さんかん」

今日の五時間目は、じゅ業さんかんでした。私は、作文を発表する人でした。だから、私は、すごくドキドキしていました。

そして、私の番がちかづくとき、さつきよりもっとドキドキの番になって、発表をしました。私はしっかりと発表できたのでよかったし、お母さんたちも手をたたいてくれた



ですごくうれしかったです。(小三・ARさん)

「緊張」→「高まる緊張」→「安堵・喜び」と、三段落で感情の移り変わりを見事に表現しましたね。「さつきよりも、もっともどドキドキ」と、高まる緊張感の表し方がうまいですね。思わず、文章を読んでいるこちらまで一緒に緊張してしまっうほどです！Rちゃん、頑張ったね、お疲れ様。

「顔の大きが」

先週の金曜日に、学校の階段で転んで角に顔をぶつけました。そしたら、ほぐすがすごくはれました。

すぐ痛かったので、日曜日に病院へ行きました。ほねは折れていなかったが、顔の中が出血していたと病院の先生が言っていました。そして、薬をもらって帰りました。

でも、薬を飲んでもいたいたいのはあまりありませんでした。しかも、ちよとずつふくらんでいきました。(小四・WS君)

「金賞」

今日、冬休みに出した書道が入賞しました。朝から、先生のつくえに賞状があつて、(もしかしたら、入賞したかも)と思っていました。

六時間目が終わって、先生が、「冬休みに出した書道で入賞した人の名前をよびます。」と言ったので、ぼくは、(よばれるかな)と思いました。銀賞の人の名前を言い終わったけど、まだ名前を呼ばれませんでした。次に金賞の人の名前を言い始めました。先生がどどどど名前を言ったけど、なかなかよばれませんでした。そして、先生が、「K君(※作者の苗字)」

と言いました。その時、つい、「やったー。」

と小声で言っていました。うれしかったです。

三年の時は銀賞、四年で金賞なので、次は特賞を取りたいです。(小四・KK君)

入賞しているかな？自分の名前はいつよばれるだろう？という「期待感」をとても上手に表現しましたね！今か、今か、と自分の名前を呼ばれるのをソワソワしながら待つK君の姿が目につかぶようです。昨年の結果と今年の結果、来年に向けての豊富でまとめた最後の一文はお見事です。



★上級者の部★

「フットサルの新年会」

私は、受験の勉強でぜんぜんフットサルをやっていないで、みんなの顔もみていませんでした。だから、土曜日のフットサルの新年会はとても楽しみにしていました。そして、みんなが席にすわると、私は何を話していいかわからなく、とまどいました。でも、あやちゃんや、すずかちゃんが、進んで話してくれて、ほっとしました。

ごはんを食べてから、みんながアイスを食べながらUNOをしました。とても、もりあがり、一位の人がビリの人に何でも指示をしてもいいことになり、私は一位をめざしたのですが、他の男子に取られてしまい残念でした。でも、ビリにならなくてよかったです。(小六・HAさん)

自分の最近の状況を説明することで、しばらくぶりに会う友達に対して気後れしてしまつたことを上手に表現しましたね。しかし、そこはやはり仲間。あつという間に打ち解けた楽しい時間を過ごしたことがよくわかります。Aちゃんの感情表現はいつもピカイチです！皆さんも、是非参考に！

「バレンタインのケーキ作り」

バレンタインの前日の夜、バレンタインデーのケーキを作ることを忘れていて、あわてて作りしました。そのケーキというのは、丸い形をした小さなケーキです。テキストみたいなものを買ってきて、作ってただけだけど、まあ作りだろーと思ひ作りしました。

私は、そういうケーキを作ったことがないので、お母さんと作りました。しかし、作ったことのない私は、まぢがえまくって、お母さんにおこられたばなしでした。

無事、生地を作り終わり、かたに流しこみました。初めは、時間ピッタリに終わらないかな、と思いましたが、ピッタリに終わりました。そして、レンジで温め、ふくらぶめをしました。ふくらぶめはお母さんにまかせて、私はメッセージカードを書き、ケーキ作りは終了しました。

始めは、おこられまくったけど、ケーキを作り終わった後の達成感がよかったです。(小・JYさん)

初めてのケーキ作りの様子を自分らしい素直な言葉で生き生きと表現しましたね。ケーキ作りの過程も上手に説明できています。失敗して怒られながらも、最後は達成感を味わえたことと結び、とても爽やかな文章に仕上がりました。Yちゃん、初めてのケーキ作り大成功だね！

●今月の『伊藤先生のおすすめ本』のコーナーは紙面の都合によりお休みさせていただきます。ご了承ください。来月号をお楽しみに。